

【 天国への手紙

2017年12月31日放送分

】

大好きな先生へ

ラジオネーム…こつとす

先生がいなくなって干支が一回りするね。

先生が亡くなったことを、校長先生から聞かされた時、みんな意味がわからなかったんだ。

だって、あんなに楽しみにしていた合唱コンクールの  
ちょうど4日前。

でもね、先生。わかっているよ。

一番驚いたのは先生と、ご家族だよね。

「さあ学校に行こう。って思ってた時だった。「って  
校長先生が言っていたよ。

先生は、何よりも私のこと考えてくれたね。

何も言わなくても、「ああ、何かあったんだよね」って  
って気づいてくれたね。

どんなに周りの人が見捨てても先生だけは見捨てないでくれたね。  
ねえ、先生。

先生が私のこと誰よりもたくさん知ってくれたように

私だって先生のことたくさん知っているんだよ。

面白さ、やさしさ、甘さ、怖さ、

新しく出来た家族への思い……。

外が真っ暗になるまで話したね。

少しタバコのおいのする車で送ってくれたね。

「家に帰りたいくない」「って言った時は遠回りしてくれたね。

先生がいなくなってからなかなか、前に進めなかったけど

中学生になってからは学校が楽しいと思えるようになったんだ。

高校では部活と両立して勉強もがんばったよ。

そして先生、私、いったん函館を離れたけど、

春から看護師として戻ってへることになったよ。

リクエスト

（ 冬の磁石

／

キンモクセイ

）